

多木和夫写真展

ユキのア・ラ・タ・カ (おくりもの)
-1960年代 佳き東北の記憶-



会場：ギャラリー イー・エム 西麻布

会期：2017年5月30日(火)～2017年6月10日(土)

時間：12:00～18:00(日・月曜日休館) 入場無料

住所：東京都港区西麻布4-17-10

電話：03-3407-5075

作品内容

横手の雪祭りは秋田県横手市で2月中旬に行われる。小正月の伝統行事で冬の風物詩として現在では全国から多数の観光客を魅了する。

『かまくら』はこの地方に良い水が恵まれるようにと雪穴に水神様を祀った風習と子供たちがこの中の雪遊びが融合したといわれる。中から子供たちが甘酒を振る舞い、大人たちはお礼にお駄賃を与える。このメルヘンの世界を戦前ドイツの建築家のブルーノ・タウトは絶賛した。

この幻想的な『かまくら』と対照的に『梵天(ぼんでん)』は男性的な勇壮な行事である。市内の各団体が製作した豪華絢爛な梵天を市内の中心地に集合させ、それを市内を練り歩き、雪の坂道を担ぎ上げながら登って旭岡山神社へ奉納する。

私はこの雪祭りを在学中に是非写真に残して置きたいと思い、4年生の学期末試験の期間中1967年2月に2泊3日で行った。